



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社  
コード番号 2108 URL <https://www.nitten.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 法務室長  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-6414-5527

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	32,408	6.3	1,229	4.8	1,776	24.5	1,246	27.0
2023年3月期第2四半期	30,501	16.4	1,172	26.8	1,426	24.2	981	50.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,654百万円 ( %) 2023年3月期第2四半期 321百万円 ( 63.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	94.30	
2023年3月期第2四半期	72.75	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	95,300	71,578	75.1	5,479.01
2023年3月期	103,149	68,134	66.1	5,102.17

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 71,578百万円 2023年3月期 68,134百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				50.00	50.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	7.7	1,200	20.3	2,000	0.3	1,200	4.8	90.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	15,325,642 株	2023年3月期	15,325,642 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	2,261,571 株	2023年3月期	1,971,718 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	13,217,400 株	2023年3月期2Q	13,484,877 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は本日、当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)のわが国経済は、雇用や所得環境の改善により緩やかに回復しておりますが、世界的な金融引き締めの影響や中国経済の先行き懸念、物価上昇等の課題があり、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループでは、第2次日甜グループ中期経営計画(2023年4月～2028年3月)を策定し、「持続可能なてん菜産業の創造にチャレンジし、安全・安心で幸せな社会の実現に貢献していく」を掲げるとともに、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、企業価値の一層の向上に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、主に砂糖事業の売上の増加により、前年同期比6.3%増の32,408百万円となり、経常利益は、砂糖事業の増益により、前年同期比24.5%増の1,776百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比27.0%増の1,246百万円となりました。

事業別の概況は、次のとおりであります。

#### <砂糖事業>

海外市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限)において1ポンド当たり期初22.40セントで始まり、ブラジル通貨のリアル高等により高値傾向で推移し、その後干ばつによるインドの砂糖輸出禁止見通しにより、9月中旬には27セント台まで上昇し、26.27セントで当第2四半期連結累計期間を終えました。

一方、国内市況につきましては、期初227円～229円(東京精糖上白現物相場、キログラム当たり)で始まりましたが、海外粗糖相場上昇の影響を受けて、7月に239円～241円に上昇し、そのまま当第2四半期連結累計期間を終えました。

ビート糖は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ちこんだ販売量が、清涼飲料、菓子、外食向け等の業務用で回復が見られ、販売価格も上昇したことから、売上高は前年同期を上回りました。

精糖は、家庭用の販売量が減少したものの、業務用の販売量の回復と販売価格の上昇が見られ、売上高は前年同期を上回りました。

砂糖事業の売上高は前年同期比8.7%増の23,261百万円となり、販売価格の上昇により損益が改善し、営業利益は前年同期比62.3%増の1,413百万円となりました。

#### <食品事業>

イーストは、価格改定を実施し、適正価格での販売に努めたことから、売上高は前年同期を上回りました。オリゴ糖等食品素材は、ラフィノースやフラクトオリゴ糖の販売量が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

食品事業の売上高は前年同期比0.9%増の1,264百万円となり、営業利益は前年同期比82.6%増の27百万円となりました。

#### <飼料事業>

配合飼料は、生乳生産抑制の影響により、販売量は減少しましたが、販売価格の上昇により、売上高は前年同期を上回りました。

ビートパルプは、販売価格は上昇しましたが、繰越在庫の販売が減少したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

飼料事業の売上高は前年同期比3.7%増の5,206百万円となりましたが、燃料在庫の棚卸資産評価損計上の影響が大きく、676百万円の営業損失(前年同期は230百万円の営業損失)となりました。

#### <農業資材事業>

紙筒(移植栽培用育苗鉢)は、価格改定等により、売上高は前年同期を上回りました。

農業機材は、ビート用移植機等の売上が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

農業資材事業の売上高は前年同期比9.5%減の1,368百万円となり、営業利益は前年同期比9.2%減の69百万円となりました。

#### <不動産事業>

不動産事業は、一部賃貸物件の稼働率低下により、売上高は前年同期比 3.1%減の 733 百万円となり、営業利益は前年同期比 4.1%減の 460 百万円となりました。

#### <その他の事業>

その他の事業は、売上高は前年同期比 2.9%増の 574 百万円となり、113 百万円の営業損失（前年同期は 98 百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比 7,848 百万円減の 95,300 百万円で、このうち流動資産は、主に棚卸資産の減少により前連結会計年度末比 13,243 百万円減の 43,810 百万円となり、固定資産は、主に投資有価証券の時価の上昇により前連結会計年度末比 5,395 百万円増の 51,489 百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比 11,292 百万円減の 23,722 百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金の減少により前連結会計年度末比 12,538 百万円減の 13,186 百万円となり、固定負債は、主にその他に含まれる繰延税金負債の増加により前連結会計年度末比 1,245 百万円増の 10,535 百万円となりました。

純資産は、主にその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末比 3,444 百万円増の 71,578 百万円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、15,922 百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は 7,597 百万円の収入）となりました。

これは主にその他の流動資産の増加 7,442 百万円等による資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益 1,792 百万円、棚卸資産の減少 16,178 百万円、その他の流動負債の増加 3,588 百万円等による資金の増加があったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,602 百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は 613 百万円の支出）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出 1,936 百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、17,971 百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は 11,126 百万円の支出）となりました。

これは主に短期借入れによる収入 1,830 百万円等による資金の増加があったものの、短期借入金の返済による支出 18,530 百万円、配当金の支払 664 百万円、自己株式の取得による支出 559 百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同四半期連結累計期間末に比べ 69 百万円減少し、6,938 百万円となりました。

## (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

砂糖事業において、海外砂糖相場の上昇を反映し販売価格が上昇することが見込まれますが、2023年産の原料てん菜が、夏季の猛暑の影響等による低糖分が見込まれており、ビート糖の製造コストの大幅な上昇が避けられない状況です。また、飼料事業において、販売数量が減少する見通しです。

そのため、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに、2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想を下回る見込みとなりましたので、以下のとおり修正いたします。

2024年3月期 通期連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	70,000	1,600	2,200	1,500	112.33
今回修正予想 (B)	70,000	1,200	2,000	1,200	90.79
増減額 (B - A)	—	△400	△200	△300	—
増減率 ( % )	—	△25.0	△9.1	△20.0	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	65,013	1,506	1,993	1,260	93.59

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,589	2,938
受取手形及び売掛金	8,537	8,653
電子記録債権	228	339
有価証券	6,000	4,000
商品及び製品	29,667	11,878
仕掛品	483	568
原材料及び貯蔵品	5,746	7,271
その他	1,808	8,167
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	57,054	43,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,423	11,203
その他(純額)	12,987	13,682
有形固定資産合計	24,411	24,885
無形固定資産		
	513	517
投資その他の資産		
投資有価証券	19,527	24,462
退職給付に係る資産	1,481	1,490
その他	163	136
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	21,169	26,087
固定資産合計	46,094	51,489
資産合計	103,149	95,300

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,180	1,291
短期借入金	18,637	1,920
未払法人税等	100	498
その他	5,806	9,476
流動負債合計	25,724	13,186
固定負債		
長期借入金	119	74
役員退職慰労引当金	12	15
退職給付に係る負債	4,090	3,966
その他	5,068	6,479
固定負債合計	9,290	10,535
負債合計	35,015	23,722
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,413	8,413
利益剰余金	45,521	46,099
自己株式	△3,739	△4,282
株主資本合計	58,473	58,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,182	12,613
繰延ヘッジ損益	△2	6
退職給付に係る調整累計額	480	447
その他の包括利益累計額合計	9,660	13,067
純資産合計	68,134	71,578
負債純資産合計	103,149	95,300

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	30,501	32,408
売上原価	22,864	24,862
売上総利益	7,637	7,546
販売費及び一般管理費		
販売費	4,949	4,696
一般管理費	1,515	1,621
販売費及び一般管理費合計	6,464	6,317
営業利益	1,172	1,229
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	340	574
持分法による投資利益	15	17
その他	37	49
営業外収益合計	393	641
営業外費用		
支払利息	53	49
固定資産処分損	64	25
その他	21	19
営業外費用合計	139	93
経常利益	1,426	1,776
特別利益		
投資有価証券売却益	3	32
補助金収入	-	385
特別利益合計	3	417
特別損失		
固定資産処分損	43	17
固定資産圧縮損	-	384
特別損失合計	43	402
税金等調整前四半期純利益	1,387	1,792
法人税等	406	545
四半期純利益	981	1,246
親会社株主に帰属する四半期純利益	981	1,246

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	981	1,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△654	3,431
繰延ヘッジ損益	6	8
退職給付に係る調整額	△11	△32
その他の包括利益合計	△659	3,407
四半期包括利益	321	4,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321	4,654
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,387	1,792
減価償却費	1,125	1,211
持分法による投資損益 (△は益)	△15	△17
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△216	△125
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△32	△55
受取利息及び受取配当金	△340	△574
支払利息	53	49
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3	△32
補助金収入	-	△385
固定資産圧縮損	-	384
有形固定資産除却損	43	14
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,347	△226
棚卸資産の増減額 (△は増加)	10,367	16,178
前払費用の増減額 (△は増加)	△98	△170
未収入金の増減額 (△は増加)	783	930
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△6,768	△7,442
仕入債務の増減額 (△は減少)	△238	110
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△41	△17
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	3,572	3,588
その他	△55	27
小計	8,173	15,239
利息及び配当金の受取額	340	574
利息の支払額	△59	△57
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△857	166
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,597	15,922
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	1,010	-
投資有価証券の売却による収入	3	42
有形固定資産の取得による支出	△1,539	△1,936
無形固定資産の取得による支出	△5	△35
国庫補助金等の受入による収入	-	385
預り保証金の返還による支出	△66	△61
その他	△18	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△613	△1,602
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	4,130	1,830
短期借入金の返済による支出	△14,530	△18,530
長期借入金の返済による支出	△71	△61
配当金の支払額	△671	△664
自己株式の取得による支出	△3	△559
その他	19	13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,126	△17,971
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,142	△3,651
現金及び現金同等物の期首残高	11,150	10,589
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,007	6,938

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式298,200株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取りによる取得も含めて自己株式が559百万円増加しました。

また、2023年7月20日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式8,900株の処分を行い、当該株式の処分により自己株式が16百万円減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において、自己株式が4,282百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## ①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰延べております。

## ②税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	21,400	1,252	5,020	1,513	756	29,943	558	30,501
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117	17	7	4	62	208	904	1,112
計	21,517	1,270	5,027	1,517	819	30,152	1,462	31,614
セグメント利益 又は損失(△)	871	15	△230	76	480	1,212	△98	1,113

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,212
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△98
セグメント間取引消去	58
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,172

## II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	23,261	1,264	5,206	1,368	733	31,834	574	32,408
セグメント間の内部 売上高又は振替高	130	17	7	0	62	217	866	1,084
計	23,391	1,282	5,214	1,369	795	32,052	1,440	33,492
セグメント利益 又は損失(△)	1,413	27	△676	69	460	1,294	△113	1,181

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,294
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△113
セグメント間取引消去	47
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,229

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益（又は損失）の測定方法の変更)

「その他」の区分のセグメント間の内部売上高又は振替高は、実際の取引総額に基づいた金額により集計しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、セグメント間の取引規模をより正確に表示するために取引実態に基づいた金額により集計する方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法に比べ、当第2四半期連結累計期間の「その他」の区分のセグメント間の内部売上高又は振替高が5,486百万円減少しております。また、セグメント利益（又は損失）に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。